

99_FX つなぎ順番

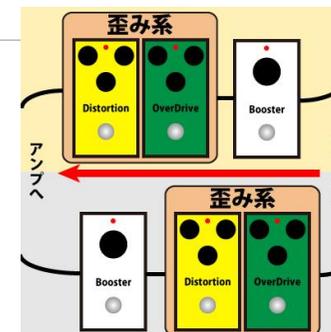


ブースターは音量を上げるエフェクターです。しかし、画像の上側のように、歪み系の前にブースターを接続した場合、後に接続されている「歪み系」で調整される音量が優先されるため、「ブースターで音量を上げる」という効果を完全に発揮することは出来なくなります。

では、この接続は間違いなのか、というと、そんなことはありません。ギターから出た音声信号の気分になって考えてみましょう。ブースターがOFFになっている場合、ギターから出た音声信号は、歪み系エフェクターによって歪みが付加されます。ブースターがONになっている場合、ギターから出た音声信号は、まずブースターで音量が上がった状態で、歪み系エフェクターに入力されてゆきます。すると…（例外もありますが）歪み系エフェクターから出る「歪み」が、ブースターがOFFの時よりも強くなっています。「ゲインが上がる」という言い方をしますが、画像上側のように接続すると、ブースターで歪みのゲインを上げるという使い方ができます。

では、画像下側のように、歪み系の後につなぐとどうなるのでしょうか。エフェクターは、「後に接続したエフェクトが強く」かかります。この場合、ブースターが後になりますので、歪み系エフェクターで作った音をそのまま、ブースターで「音量を上げる」という使い方ができます。

このように、エフェクターは接続順を入れ替えるだけで全く違った効果となるものもあります。



続いて、ワウペダルの場合を見てみましょう。基本的な考え方はブースターの場合と同じで、「後に接続したエフェクトが強く」かかることを意識して、エフェクターをつないでいきます。

まず、画像上側のように、ワウペダルを歪み系の前に接続した場合です。ワウペダルは、ギターサウンドをワウワウ言わせるエフェクターですが、歪み系が後に接続されているため、出力されるサウンドは、ギャウギャウ、ギヤーギヤーといった、**荒々しいものになります**。また、この場合、ワウペダルのペダルを動かしたときになる「ワウ」という音の変化が弱まることもあります。この場合、つないだ歪み系によっては、ワウペダルの効果が全く効かなくなることもありますのでご注意ください。

画像下側のように、歪み系のあとにワウペダルを接続すると、後につないだワウの効果が強くなりますので、**画像上側のときよりもさらにワイルドな「ギャウギャウ」というサウンドを作ることができます**。

